

# 徳成寺 寺じもから版 第138号 2018年6月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

梅雨入りを迎えますが、皆さん元気でお過ごしと存じます。

昔は「ウソついたら、閻魔さんに舌を抜かれる」等と言って、

人の目に見えない部分を意識して暮らす粋な面がありました。

今や完全に死語ですね。経典には「慙愧」という言葉があります。

『慙』は人に<sup>は</sup>羞<sup>ざん</sup>ず、『愧』は天に<sup>は</sup>羞<sup>き</sup>ずと名づく。『無慙愧』は名づけて

『人』とせず、名づけて『畜生』とす。」人やお天道様に対して<sup>は</sup>羞<sup>は</sup>ずかしい

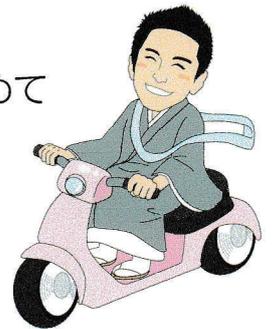
感覚がなくなると、もはや人とは言えない、「畜生」であると厳しく誡めて

います。人間<sup>は</sup>羞<sup>は</sup>じらいを忘れたらおしまいですね。いくつになっても

<sup>は</sup>羞<sup>は</sup>じらいを忘れませんように。近頃、そんな出来事ばかりなので。

\*子供おつとめ本を、ご希望の方はご一報下さい。

発行責任者  
住職  
大山健児  
坊主  
大山ひとみ



## 大山超世の耳を澄ませば



どうも、長男です。

5月と言えば子供の日、母の日、そして私の誕生日とイベントが目白押しでしたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

随分とご無沙汰していた母の日を久し振りにお祝いしました。月並みですが、カーネーションとケーキを買ってみんなで食べるというささやかな母の日でしたが喜んでいただけただけなので良かったです。

写真は購入したカーネーション。私は手に取らなかったのですが、最近はレインボーカラーのカーネーションがあるんですね。化学の進歩にびっくりです。